

# 吉崎高便り

第137号

発行責任者  
山口 千樹



携帯サイトへ

長崎県立吉崎高等学校

長崎県吉崎市郷ノ浦町片原88

[TEL] 0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

## 巻頭言

## さよならのかわりに

教頭 濱野 正義



この1年を振り返ってみると、みなそれぞれ色々なことがあった1年だったと思います。成績の上がった者、下がった者、部活動に打ち込み充実した1年であった者、体育祭や文化祭などの学校行事で活躍した者……。それぞれの1年だったわけですが、そのなかでも生徒だけでなく教員も含め吉崎高校全体が経験した大きな出来事は、インフルエンザの流行ではなかったでしょうか。かくいう私も50数年生きてきて初めてインフルエンザに罹ってしまったわけですが、その時つくづく感じたことがあります。「平凡な毎日がいかに大切なものか」ということです。

ここでグレン・ベックの『the Christmas Sweater』という本を紹介します。

父親をガンでなくし、貧しい母子家庭に暮らす主人公エディ。今年のクリスマスこそ自転車をもらえると期待し、母を信じていました。しかし、母からの贈り物は手編みのセーターだったのです。家が貧しいということは分かっているのですが、エディの落胆ぶりはかなりのものでした。

その晩、エディと母親は車で片道1時間半もの道のりにある祖父の家に行きました。祖父の家に行ってもエディの心は晴れず、つい母親の編んでくれたセーターを邪険に扱い、床に放り投げてしまいます。

その夜、祖父の家に泊まる予定でしたが、おもしろくないエディは家に帰りたと言って、疲れているから泊まろうと再三言う母親を困らせます。やむなく、帰ることとなり、車の中で母親は言います。「お母さんは仕事を4つも掛け持ちしていて、この2年間ろくに眠っていないのよ。つらいのはお母さんも同じ。つらいつらいと不満を言うこともできる。自力で何とかしないとしようがないと気づくこともできる。幸せになるか、みじめな生き方をするか、それは自分で選ぶものよ。」しかしエディは心を開くことなく、黙ってしまい、やがて眠ってしまいます。

気がつくくとエディは病院のベッドの上でした。母親は居眠り運転の事故で亡くなってしまったのです。こうして最愛の母親を亡くしてはじめて、エディは自分が失ったものの大きさに気がつきます。手編みのセーターをプレゼントしてくれたお母さんがいるだけで自分は幸せだったのだ、自転車などいらなかったのだと。

これ以上の紹介は控えておきます、読んでみようかなと思う生徒のために。(比較的易しい英語で書かれているので、原文にチャレンジしてもいいでしょう)

この本の伝えるメッセージはいくつもあるのですが、その一つは、もちろん母親の言葉の『幸せになるか、みじめな生き方をするか、それは自分で選ぶもの』ですね。

そしてもう一つのメッセージは、大切なものを失うことになった原因は、エディが母親の気持ちを分かろうとしなかったことにあったわけです。母親の気持ちを理解しようとするれば、セーターを邪険に扱うこともないし、心のこもった手編みのセーターのプレゼントで十分喜んだはずですが、また、疲れている母親のことを考えれば、帰るなどとは言えなかったわけです。

『人の気持ちを考えられる人間になってほしい』、これが大事なメッセージの1つです。

私の吉崎高生へのラストメッセージとして、この2つを君たちに贈ります。さよならのかわりに。

## 第 2 学 年 よ り

年度末なので、この1年を簡単に振り返ってみようと思います。2年生の自覚がまだ薄い4月一両校戦と歓迎遠足は雨…。高総体前の練習に明け暮れた5月ー3年生の後ろ姿は輝いていた！3年生から部活を引き継いだ6月一部活を成立させることが大変。精神的にも肉体的にも限界寸前。ボランティアの7月ー辰ノ島や対馬が美しく！それぞれに過ごした8月ー2名の生徒がシンガポール・オーストラリアで異文化体験。行事の9月ー学級・学年の結束が強固に。学習の10月ー模試で少しずつ受験生を意識。駐日外交団が来校した11月ー語学の重要性を再認識。三者面談の12月ー進路講演会で意識が高揚。修学旅行の1月ースキーで生徒の運動能力の高さにビックリ。逃げ月の2月ー学年末考査、頑張りました。卒業式の3月ー立派な送辞と圧巻の答辞。

2年生も終わりを迎え、卒業まであと1年です。「一時違えば三里の遅れ」ということわざがあります。受験や就職試験準備にライティングはありません。ぐずぐずして進まない、たちまち旅程が三里遅れるということになります。4月からは、少しぐらいと思って油断することなく毎日を大切にしていきたいものです。来年度もよろしくお願ひいたします。

## 第 1 学 年 よ り

今年度も残り僅かとなりました。保護者の皆様におかれましては、学年の教育活動についてご理解とご協力を頂き誠に感謝申し上げます。また、毎日のお弁当作りや送迎などもあり、大変ご苦勞されたことと思います。この一年間で生徒たちは高校生らしく成長したように感じています。

さて、来年度は「夢ヲ深メル」というテーマのもと、より進路研究を深める活動を計画しています。社会との接点を増やし、将来の職業選択のミスマッチを防ぎ、何より実社会で自分らしさを発揮するために、学力の向上と共に、自身の理解を深化させる一年と位置づけ、有意義なものとなるよう指導していきます。来年度もよろしくお願ひいたします。

## 東アジア歴史・中国語 コース

2月28日(火)、第3回コース交流会が行われ、コース第12回生3名の卒業をコース生徒全員で祝福しました。交流会では、在校生から中国語で歌のプレゼントが披露されました。

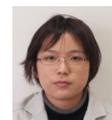
翌日の卒業式後には、3名の離島留学生全員が郷ノ浦港を出発。3年間、親元離れて過ごした壱岐の島を後にしました。郷ノ浦港に響き渡るエール、そして校歌。離れていく卒業生を見送る在校生、先生方、里親さん、地域の方々。改めて、離島留学生が多くの方の支えによって見守られていたことを再認識しました。生まれ故郷を離れ、3年間で大きく成長した佐藤君、鈴木君、森本さんの、



これからの更なる活躍に期待したいと思ひます。



## 今年度離退任者 ありがとうございます

|  |                                     |   |                                   |
|--|-------------------------------------|---|-----------------------------------|
| 濱野 正義<br> | 英語<br>教頭<br>長崎西高校<br>へ              | 中里 圭輔<br> | 体育<br>3-1副担<br>柔道部<br>佐世保西高<br>校へ |
| 馬渡美加子<br> | 家庭<br>1-3副担<br>調理部<br>壱岐商業高<br>校へ   | 下野真由子<br> | 生物<br>2-2副担<br>陸上部<br>大崎高校へ       |
| 樋口 舞<br>  | 情報<br>3-6副担<br>吹奏楽部<br>佐世保商業<br>高校へ | 福田将文<br>  | 事務<br><br>鯨伏小学校<br>へ              |
| 村井 祥子<br> | 事務<br><br>虹の原特支<br>壱岐分校へ            | 王 佳<br>   | 中国語<br>3-6副担<br>英語部               |
| 峰松 規子<br> | 中国派遣                                | 大村城南高校へ   |                                   |

## 杵岐高Topics!

### 「ふるさとCM大賞コンテスト」

3月4日、長崎市で第12回NCCふるさとCM大賞の最終審査が行われ、本校放送部が制作したCMが2年連続でグランプリを受賞しました。

作品は杵州豆腐をPRした30秒のCMで、高校生らしい題材と豆腐の固さを組み合わせたユニークな内容です。制作した1年生の塚本真紀さんと山川瑞季さんは「これからも杵岐の魅力を発信できるような番組を作りたいです。」と話していました。



作品は来年度、NCCで年間100回放送される予定です。

### 「杵州祭」

2月25日～3月20日、杵岐国博物館で杵州祭が行われ、本校の文化部が展示やステージ発表を行いました。

3月5日には多目的ホールで吹奏楽の演奏と放送部の絵本朗読も行われ、会場はたくさんの人でにぎわいました。



## 4月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

|    |   |  |
|----|---|--|
| 1  | 土 |  |
| 2  | 日 |  |
| 3  | 月 |  |
| 4  | 火 | 入学予定者オリエンテーション<br>部活動紹介                |
| 5  | 水 |  |
| 6  | 木 | クラス発表                                  |
| 7  | 金 |  |
| 8  | 土 |  |
| 9  | 日 |  |
| 10 | 月 | 始業式 大掃除 入学式 学年PTA①<br>入市式 前期学級自治委員選出   |
| 11 | 火 | 面談 課題テスト①②③ 容儀指導<br>離島留学生集会            |
| 12 | 水 | 面談(短縮) 課題テ③ 補習開始②<br>部活動入部集会 第1回コース交流会 |
| 13 | 木 | 面談(短縮) 補習開始③ 尿検査 前期学級自治委員任命式 虹の原対面式    |
| 14 | 金 | 面談(短縮) 写真撮影①                           |
| 15 | 土 |  |
| 16 | 日 |  |
| 17 | 月 | 面談(短縮)                                 |
| 18 | 火 | 心電図①                                   |
| 19 | 水 | 身体測定・スポーツテスト①                          |
| 20 | 木 | 各種専門委員会                                |
| 21 | 金 | 宿泊研修結団式 文化祭実行委員会<br>公募締切               |
| 22 | 土 | ★②③ スタディーサポート①<br>第1回公務員・就職模試③         |
| 23 | 日 |  |
| 24 | 月 | 宿泊研修① 内科検診                             |
| 25 | 火 | 宿泊研修① 尿検査                              |
| 26 | 水 | 宿泊研修① 内科検診                             |
| 27 | 木 | 胸部レントゲン①                               |
| 28 | 金 | 歓迎遠足 文化祭実行委員会                          |
| 29 | 土 | 【昭和の日】                                 |
| 30 | 日 |  |

## 進路指導部より

先日、卒業した3年生から後輩に向けて体験談を語ってもらう「進路交流会」がありました。大学、短大、専門学校、公務員、就職……進路先はそれぞれ違って、納得のいくまで努力を積み重ねた人が希望を叶えているということは共通していたようです。

この原稿を書いている時点では、中後期日程の合格発表を一部残していますが、69回生は九州大学や長崎大学など、国公立大学に60名が合格を果たし、私立大学にも延べ80名以上が合格しました。また、高等看護学校など専門学校にも志望者全員が合格しています。公務員については壱岐市役所、長崎県職、税務一般など延べ23名が合格し、就職率も100%を達成しました。

春季休業期間は中堅・最高学年へ向けた準備期間であり、次年度の成功の鍵を握る重要な時間です。これまでを振り返って真摯に反省をし、それを次年度に生かすべく志高くこの期間を過ごしてください。

## 生徒指導部より

平成28年度もまもなく無事終了しようとしています。保護者の皆様のご理解とご協力のお陰だと感謝しております。ありがとうございました。生徒は全体的に落ち着いた学校生活を送ることができたように思います。

本年度は「愛される壱岐高 応援される壱岐高」をスローガンに掲げ、生徒の自主・自

律を目指し指導にあたってきました。

「一年間を振り返ってみてどうでしたか？」

- 登下校時の交通マナー
- 乗り降り禁止区間の遵守
- 情報機器端末によるトラブルの防止  
(携帯電話・スマートフォンの使用方法について、家庭内のルールは守れていたか等)
- 立ち止まり挨拶の徹底

来年度も保護者、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いするとともに、壱岐高教職員一丸となって、生徒一人一人が落ち着いた学校生活を送れるよう、より良い環境作りに取り組んでいきたいと思っております。

## 生徒会・美化部より

平成29年3月19日(日)、長崎県対馬市のイベントホールにて「第7回 壱岐・対馬地区高等学校Springジョイントコンサート」が開催されました。参加校は、上対馬高校・対馬高校・壱岐商業高校・壱岐高校の4校で、各校OB・OGも参加し盛大なイベントとなりました。立ち上がったたり、左右に揺れたり振り付けをした演奏に会場も手拍子で参加し、会場は大いに盛り上がりました。

離島での吹奏楽は、人数的にも厳しい環境下にあります。離島同士の絆を大切に、今後もこのコンサートを通して絆を深め、互いに良い刺激を与え合ってほしいと思います。



## 中国語講師 王佳先生コラム「多彩中国(中国いろいろ)」

欧米諸国などはナイフとフォークを使うのに対して、中国などのアジアは箸を使います。中国以外に日本も韓国も箸を使う習慣があります。箸は中国人が発明したもので、箸の一端は四角形でもう一端は円形ですが、これは「天円地方(天空は円く、地は四角い)」を象徴しています。

また箸を使う際にはいろいろなマナーがあり、例えば箸で他人を指す、箸でお碗やお皿を叩く、箸だけを口に入れる、箸で食べ物を取った後また皿に戻すなどは禁止されています。これは日本の「指し箸」、「ねぶり箸」と似ているものです。中国と日本の箸は木や竹で作ったものが多い代わりに韓国の箸はほとんど金属の箸です。

同じ箸を使っても飲食習慣、風俗文化などの違いにより、箸文化の違うところもいろいろあります。一つ一つの違いがその独特な文化を体現しています。これこそ、異文化の面白みです。

王佳先生は今学期をもって退任なさいます。1年間ありがとうございました！

